

こうか まちかど特派員 のページ

こうか
まちかど特派員
もちづき だだし
望月 公司



■盛りだくさんの内容で盛り上がった「音と光のプロムナード」

年始の物 から 年末の贈り物



当日は午前10時スタート、市民参加型のステージ発表（キッズダンス、ピアノ演奏など）、体験講座（デジカメ・押し絵など）、マジックショー、チャ・リーディング、さらに模擬店などで終日にぎわいました。辺りが薄暗くなる午後4時半から玄関前で、甲賀消防本部音楽隊の演奏に続くイルミネーション（本紙1月1日号に掲載）の点灯、エンディングは子どもたちが描いた行灯の飾られたホワイエでのジャズ・ライブでした。

今回は、より多くの皆さんが楽しんで参加し、更にプララへの関心を高めていただきたいとの願いから、多岐にわたる内容となりました。

その1

「音と光のプロムナード」
12月15日(土)

忍の里プララでは、プララ企画運営委員会と行政が協働して、音楽芸術事業、舞台芸術事業、展示事業、市民提案型事業など多様な事業が年間を通じて実施されています。今回は、その一端を「年末年始プララからの贈り物」として紹介します。

その2

「ロビーコンサート」
12月23日(日)

夏に続いて2回目のコンサートでしたが、今回は、「DUET For Flute & Violin」と題してのフルート・ヴァイオリン・キーボードの女性3名による演奏でした。

「琵琶湖周航の歌」「千の風になつて」「日本の四季メドレー」など親しみのある曲も多く、透き通るような素晴らしい音色に酔いしれた約1時間でした。

その3

「プララでライブ」
1月5日(土)

演奏者も聴衆もともに楽しめるライブの場を身近な所に提供するとともに、さらに大きく育って欲しいとの主催者の誘いに、高校生からおじさんまでのアマチュアバンド10組が応えてくれました。

各バンド持ち時間いっぱいのもので、熱演は5時間近くになりました。



■演奏者と聴衆が一体となった「プララでライブ」



■透き通るような音色に酔いしれた「ロビーコンサート」

りましたが、互いの演奏から受けた刺激はいうに及ばず、事前のチケット販売や当日の会場準備と後片付けなど、自ら連帯して取り組んだことも相まって、今後互いの力量を高めていく糧になるのではと期待されます。

ステージと客席をフラットにした多目的ホールでの熱演は、演奏者と聴衆が一体となって盛り上がったひとときでした。

以上3つの事業は、プララが大切にしている市民提案型の企画支援事業でしたが、参加された方のご感想はいかがでしたでしょうか。

年末年始の多忙ななか、足を運んでくださった多くの方々に企画運営委員の一人として厚くお礼申し上げます。